

# 東洋大学はいま

学部 Faculty	文学部 Faculty of Letters	国際観光学部 Faculty of International Tourism Management
	哲学科／東洋思想文化学科★／日本文学文化学科★／英文文学科／史学科／教育学科★／国際文化コミュニケーション学科	国際観光学科
	経済学部 Faculty of Economics	情報連携学部 Faculty of Information Networking for Innovation and Design
	経済学科★／国際経済学科／総合政策学科	情報連携学科
	経営学部 Faculty of Business Administration	ライフデザイン学部 Faculty of Human Life Design
	経営学科★／マーケティング学科／会計ファイナンス学科	生活支援学科／健康スポーツ学科／人間環境デザイン学科
	法学部 Faculty of Law	理工学部 Faculty of Science and Engineering
	法律学科★／企業法学科	機械工学科／生体医工学科／電気電子情報工学科／応用化学科／都市環境デザイン学科／建築学科
	社会学部 Faculty of Sociology	総合情報学部 Faculty of Information Sciences and Arts
	社会学科★／社会文化システム学科／社会福祉学科★／メディアコミュニケーション学科／社会心理学科	総合情報学科
	国際学部 Faculty of Global and Regional Studies	生命科学部 Faculty of Life Sciences
	グローバル・イノベーション学科／国際地域学科★	生命科学科／応用生物科学科
		食環境科学部 Faculty of Food and Nutritional Sciences
		食環境科学科／健康栄養学科

大学院 Graduate School	文学研究科 Graduate School of Letters	社会福祉学研究科 Graduate School of Social Welfare
	哲学専攻／インド哲学仏教学専攻／日本文学文化専攻／中国哲学専攻／英文学専攻／史学専攻／教育学専攻／英語コミュニケーション専攻	社会福祉学専攻
	社会学研究科 Graduate School of Sociology	生命科学研究科 Graduate School of Life Sciences
	社会学専攻／社会心理学専攻／福祉社会システム専攻★■	生命科学専攻
	法学研究科 Graduate School of Law	ライフデザイン学研究科 Graduate School of Human Life Design
	私法学専攻／公法学専攻	生活支援学専攻■／健康スポーツ学専攻■／ヒューマンライフ学専攻■／人間環境デザイン専攻
	経営学研究科 Graduate School of Business Administration	学際・融合科学研究科 Graduate School of Interdisciplinary New Science
	経営学専攻／ビジネス・会計ファイナンス専攻★／マーケティング専攻	バイオ・ナノサイエンス融合専攻
	理工学研究科 Graduate School of Science and Engineering	総合情報学研究科 Graduate School of Information Sciences and Arts
	生体医工学専攻／応用化学専攻／機能システム専攻／電気電子情報専攻／都市環境デザイン専攻■／建築学専攻■／建築・都市デザイン専攻■	総合情報学専攻
	経済学研究科 Graduate School of Economics	食環境科学研究科 Graduate School of Food and Nutritional Sciences
	経済学専攻／公民連携専攻★■	食環境科学専攻
	国際学研究科 Graduate School of Global and Regional Studies	情報連携学研究科 Graduate School of Information Networking for Innovation and Design
	国際地域学専攻	情報連携学専攻■
	国際観光学研究科 Graduate School of International Tourism Management	
	国際観光学専攻	■…修士・博士前期課程のみ設置 ■…博士後期課程のみ設置 他、博士前期・博士後期課程

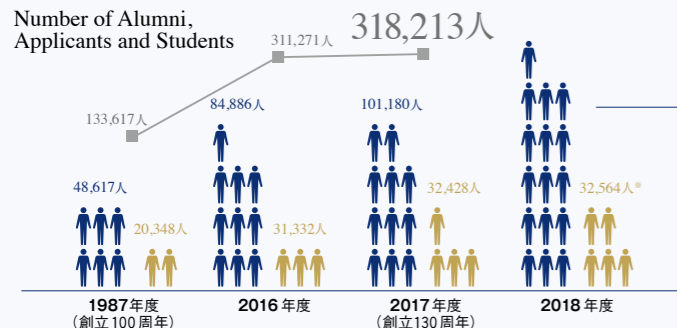
研究所 Research Institute	人間科学総合研究所／現代社会総合研究所／東洋学研究所／アジア文化研究所／地域活性化研究所／工業技術研究所／ライフイノベーション研究所／バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター／アジアPPP研究所／井上円了研究センター／グローバル・イノベーション学研究センター／情報連携学術実業連携機構
---------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

大学院・学部併設センター Research Institutes and Centers affiliated with Graduate Schools and Faculties	国際哲学研究センター／21世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター／経営力創成研究センター／計算力学研究センター／生体医工学研究センター／PPP研究センター／国際共生社会研究センター／生命環境科学研究センター／福祉社会開発研究センター／産学協同教育センター
------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

★印は学部の場合は第2部・イブニングコースを設置していること、大学院の場合は主として夜間に授業を行う課程を示す



## 卒業生数・志願者数・学生数の推移



■卒業・修了生数 (累計)  
 ■志願者数 (センター利用入試・一般入試・総合問題入試・実技入試/学部第1・2部)  
 ■学生数 (学部第1・2部、大学院、通信教育課程)

2018 (平成30) 年度センター利用入試・一般入試・総合問題入試・実技入試志願者数は115,441人で、これは国内604校の私立大学で5番目の規模です (2018年度入試の結果はP14に掲載)。また、これまでの卒業・修了生は31万人を超え、それぞれ社会の第一線で活躍しています。\* 2018 (平成30) 年5月1日現在の暫定数であり、変更になる場合があります。

## 志願者数

(2018年度センター利用入試・一般入試・総合問題入試・実技入試/学部第1・2部合計)  
 Number of Applicants

**115,441**人  
 Students

私立大学 全国5位  
 The 5th largest private universities in Japan

## センター利用入試志願者数

Number of Applicants using the National Center Test for University Admissions

全国1位 志願者数 **54,420**人  
 The largest applicants in Japan: 54,420 Students

## 学部学科数 (2018年度)

Number of Faculties and Departments

**13** 学部

**46** 学科

13 Faculties and 46 Departments

新制大学に移行した1949 (昭和24) 年の文学部設置以来、東洋大学は総合大学として13学部46学科を擁するまでに発展し、全ての学部で4年間一貫の同キャンパス教育体制を実現。また、大学院は現在、15研究科37専攻から成り立っています。

## THE世界大学ランキング

日本版2018  
 Times Higher Education Japan University Rankings 2018

総合ランキング

2017 **76**位  
 2018 **66**位  
 Ranked 66th

日本の大学における教育力の高さを評価する「THE世界大学ランキング 日本版2018」で、東洋大学は総合ランキングで66位と、前回の76位を上回る結果となりました。

# Toyo University by the Numbers

## 数字で見る 東洋大学



Webでもご覧いただけます  
 You can also view this on our website

## 資産の推移

Asset Status



2017年  
**2,326** 億円  
 232.6 Billion Yen

資産は継続的にゆるやかな増加傾向にあり、純資産構成比率は90%を超え、安定的に高い水準で推移しています。

## 外部評価

External Evaluation

10年連続  
 10 Years in a Row

**AA**

東洋大学は、2018 (平成30) 年1月に株式会社日本格付研究所 (JCR) より、10年連続で長期発行体格付の「AA」(ダブルAフラット)、21段階の上から3番目の格付を取得。格付の見直しは「安定的」とされました。格付事由は、「強い学生獲得力を維持していること」「安定した基本金組入前当年度取支差額を確保できると想定可能なこと」「良好な財務構成」などが挙げられています。

## 就職率

(2018年3月卒業生)  
 Employment Rate

**98.5**%

朝日新聞出版「大学ランキング2019」では、就職率第12位 (卒業生2,000人以上、2017年3月卒業生実績)。2018 (平成30) 年3月卒業生 (学部第1部) の就職率は98.5%と、前年の98.3%を上回る実績となりました。

## 学内企業セミナー参加社数

Number of Companies Participating in On-Campus Company Information Sessions

**1,001** 社  
 Companies

2017 (平成29) 年度中の求人社数は17,872社。開催した学内企業セミナーには延べ1,001社が参加しました。

## 海外留学・研修派遣者総数 (5年間)

(2013年4月1日～2018年3月31日実績)  
 Total Number of Students Dispatched for Overseas Study and Training

**7,977** 人  
 Students

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択。学生の海外経験を促す多彩なプログラムによりグローバルリーダーを育成しています。

## 海外との協定数

Overseas Agreements

大学間 (2018年5月現在)

**33** カ国 **146** 協定  
 Countries Agreements

学部間等 (2018年2月現在)

**28** カ国 **76** 協定  
 Countries Agreements

東洋大学は135大学、3コンソーシアム、4機関、3都市と協定を結んでいます。\* 詳しい情報はP.13に掲載

## 第2部・イブニングコース 入学定員

(2018年度)  
 Evening Course (Night School) Admission Capacity

**755** 人  
 Students

意欲ある学生がひとりでも多く学べるように、学費を抑えた第2部・イブニングコースを6学部9学科に設置。夜間学部の定員は日本の大学で最大規模であり、全私立大学夜間部学生の約25%が東洋大学に通っています。

## 講師派遣数 (2017年度実績)

Number of Lecturers Dispatched from Toyo University

**139** カ所へ **139** 人  
 Places Lecturers

**166** 校へ **222** 人  
 Schools Lecturers

大学の「知」を社会へ還元するため、数多くの講師を全国に派遣しています。

## 大学独自の奨学金支給総額

(2017年度)  
 Total Amount of Our Proprietary Grant-type Scholarship Paid

**7億3,244** 万円  
 732.44 Million Yen

東洋大学奨学金および東洋大学独立生活支援奨学金での給付総額。

## 海外留学を支援する奨学金支給総額

(2017年度)  
 Total Amount of Scholarship Paid for Study Abroad Support

**1億4,812万2,155** 円  
 148,122,155 Yen

東洋大学海外留学促進奨学金として427人、東洋大学交換・認定・協定校語学留学奨学金として209人に給付しました。

# 哲学教育を礎とし 世界に通用する人材を育てる

Nurturing world-class talents based on philosophy education

## 創業者「井上円了」

Founder Enryo Inoue

### 世界を知る、先陣を切る

円了は、生涯において自分自身の目で確かめることを大切に、3度の長期世界視察を経験しました。海外旅行も難しかった時代に、欧米や南米の異文化に触れることで、宇宙主義と日本主義を体感しました。そして、世界で得られた見聞を大学教育の理念とし、さらに後の全国巡講により民衆に伝え、急速な欧化主義を学ばされる日本において多様な価値観を学ぶ機会を設けました。この思想は21世紀の東洋大学においても「グローバル人材の育成」という基本方針に継承されています。

Toyo University's history began in 1887, when philosopher Enryo Inoue founded a private school called Philosophy Academy. Enryo believed that "for Japanese people living in the new Meiji era, philosophy will be the foundation of all thought." He also emphasized the importance of "practice of philosophy"-namely the value of cultivating the very fundamentals of "methods for seeing and thinking" through the study of philosophy.

### 学ぶ喜びを広める、全国巡講の旅

晩年の円了は、日本全国をまわる壮大な講演旅行「全国巡講」を行いました。この講演は、海外視察で学んだ大学教育、社会教育に触発され、「言論の自由」「人格の尊重」などの社会教育や生涯学習の広範な普及を目指したものでした。27年間にわたるこの旅は、現在の市町村の約60%に足跡を刻み、5,291回<sup>\*</sup>の講演活動を行った円了は、中央と地方の間で今以上に大きな格差のあった明治時代において、社会教育のパイオニアだったといえます。

※15冊の「南船北馬集」に記録が残されている1906(明治39)年から1918(大正7)年までの13年間の講演回数。

### 教育の門戸を広げる志

円了が私立哲学館を創立した際の趣意書には、「余資なく優暇なき者に教育機会の場を開放する」とあり、学ぶ意志があっても経済的・社会的に学べない全国各地の人々に、講義をまとめたテキストを送り自宅で学習できる「館外員制度」(現代の通信教育にあたる制度)を取り入れるなど、全ての人に教育の門戸を開くことに尽力しました。その大いなる社会教育の志は、現在の本学の「第2部・イブニングコース」などへと受け継がれています。



学校法人東洋大学 理事長

福川 伸次

Shinji Fukukawa  
Chairman, Toyo University Incorporated Educational Institution

1932(昭和7)年生まれ。東京大学法学部卒業。1955(昭和30)年、通商産業省入省。内閣総理大臣秘書官、通商産業事務次官、(株)神戸製鋼所代表取締役副社長・副会長、(株)電通顧問、(株)電通総研代表取締役社長兼研究所長などを経て、2003(平成15)年3月から学校法人東洋大学理事となり、2012(平成24)年12月から現職。

本学は2016(平成28)年7月、将来の日本のあり方を見据えて、東洋大学ビジョン「Beyond2020」を策定しました。これに基づき、「グローバル化」「イノベーション」「創造力」「人間価値」という4つをキーワードに大学改革を推進しています。

近年、グローバル化の進展は目覚ましいものがあります。物質中心主義であった20世紀の経済システムを超え、新しい価値体系を求めて世界的にイノベーション競争が繰り広げられています。加えて、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に象徴されるように、世界が1つの統一体として動く可能性も見えてきました。背景にあるのは一人ひとりの人間の価値を大切にしようという意識であり、今こそ「人間とは何か」「人間全体の価値をどう高めるか」を深く考えていくことが重要なのです。

そこで、高等教育に必要なものが学問分野の総合化です。それぞれの専門分野を深める一方で、文系でも科学や技術や情報を理解し、理系でも哲学や文学や倫理を学ぶという学際融合の要請が高まっていることを意味します。本学の建学の精神「諸学の基礎は哲学にあり」は、まさにこれからの時代に求められる概念だと言えます。日本では今後、少子化と高齢化により一層進みます。

「グローバル化が進む今こそ  
本学の原点に立ち返った教育を」

Returning to our roots as  
we embrace the challenges of  
globalization

2100年には人口が約4985万人になると推測され、社会構造そのものが大きく変化します。そうすると、GDPに象徴される既存の経済指標は実態にそぐわなくなるでしょう。これからの社会では、これまでのような単純な規模の追求や数字の集積を超えた新しい指標、例えば人間の創造性と価値を高めていく指標が必要です。

本学はそのような社会の変化に対応できる人材を輩出する教育研究機関であることを目指して、教育研究の充実に取り組みます。具体的には「4つのC」に注力したいと考えています。

4つのCとは「Commitment to Globalization」「Challenge for Innovation」「Creation of New Value」「Contribution to Society」です。グローバル化への関わり、イノベーションに向けた挑戦、新しい価値の創造、そして社会への貢献、これらをより一層推し進めたいと考えています。これは教員の真摯な努力とともに、職員も十分な知識を獲得し、的確な将来展望のもとに大学運営に当たる必要があります。教職員が一体となって、「チーム東洋」として新しい社会のニーズに応えていきます。

我々は、世界標準の教育研究の知的拠点となることを目指して邁進してまいります。ご期待ください。

In July 2016, we formulated the Toyo University vision, "Beyond 2020," focusing on our concept of Japan's ideal future. Based on this vision, we are striving to reform the university guided by four keywords: "Globalization," "Innovation," "Creativity" and "Human Values." We are working hard to become a world-class intellectual center for education and research. I hope you will follow our progress with interest.

For further details, please visit our website <https://www.toyo.ac.jp/toyo2018/message/>

社会はいま急激に変化しています。不確実性が高まり、確かな未来へのシナリオが描きにくいこの時代をどう生きていくかが問われているのだと思います。

本学は2014(平成26)年度に文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択され、10カ年計画で「TOYO GLOBAL DIAMONDS—グローバルリーダーの集うアジアのハブ大学を目指して」という構想を展開しています。

この構想に基づき留学生の受け入れを積極化したことで、留学生比率は全体の約7%にまで増えました。近いうちに留学生比率10%を実現したいと考えています。また、英語による授業は全体の約10%に達しました。また、各学部ではそれぞれの専門性に合ったプログラムで短期海外研修を行っています。その結果、当該事業の2017(平成29)年度における中間評価ではA評価を取得しました。

さまざまな取り組みの積み重ねにより、キャンパスの多様性が進み、学内で異なる文化や価値観に触れる機会が増えました。これからのグローバル人材にはさまざまな異文化や価値観を理解し活用する力が必要ですが、その背景には自国の伝統や思想の深い理解がなければなりません。自国の文化を理解し、それを異なる文化に生きてきた人々に説明できる力、すなわち「自文化理解・発信力」が必要なのだと考えます。

本学の創業者である井上円了先生は、まさにグローバル性を体現した人物でした。円了先生はその生涯において海外視察に3度出向き、これからは日本人も世界で活躍できるように英語や中国語の教育が必要だと考えられました。本学のグローバル教育は、実はその頃から始まっていたのです。

また、大学では教育と並んで、研究分野の発展も非常に重要です。現在、本学では2020年の東京オリンピック・パラリンピックを研究成果で支援することを目的に大学独自の研究推進策を実施し、競技用ツールの開発や暑熱対策などの関連研究が活発に行われており、その中核となる研究計画が文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択されています。加えて、2020年に向けてアスリート支援やボランティア活動の推進などにも、よりいっそう注力して取り組んでいきます。

本学は日本のみならず、世界大学ランキングなどに代表される国際的な評価を高めることを創立150周年までの目標としております。国際的な評価が海外の大学との協定締結に影響を与えることはもちろん、卓越した大学と提携できれば、本学の学生をそこに留学させることができます。つまり、高い評価を得ることで、学生により良い学びの機会を提供できるわけです。そのためにも、本学に脈々と受け継がれてきた井上円了先生のグローバル教育を今後もさらに発展させていく所存です。

「異文化理解に欠かせない  
“自文化理解・発信力”」  
Having the Capabilities of understanding and transmitting our own culture are required for the understanding of different cultures



東洋大学 学長

竹村 牧男

Makio Takemura  
President, Toyo University

1948(昭和23)年生まれ。東京大学文学部印度哲学科卒業。博士(文学)。専門分野は仏教学・宗教学。1975(昭和50)年に文化庁専門職員となり、以降、三重大学助教授、筑波大学教授を経て、2002(平成14)年から東洋大学教授。文学部長などを歴任し、2009(平成21)年9月から現職。



井上 円了 (1858年~1919年)

1858(安政5)年、慈光寺の長男として誕生。10歳で明治維新を経験し、漢学・洋学を学ぶ。23歳の時、設立間もない東京大学文学部哲学科にただ1人の1年生として入学。幼少期より身近にあった「仏教」を西洋哲学の目で見直し、「諸学の基礎は哲学にあり」と確信すると、1887(明治20)年、東洋大学の前身となる「私立哲学館」を創立。

「哲学の研究・普及が文明を発展させるために不可欠」と考え、著作と大学教育による哲学の普及に身を捧げ、「東洋の日本」から「世界の日本」を志し、海外を視察するなど、明治時代の日本で新しい教育の扉を開くことに尽力した。1919(大正8)年、中国大連での講演中に倒れ、61歳で逝去。

●生誕160周年・百回忌

2018(平成30)年に井上円了の生誕160周年かつ百回忌を迎えました。本年から2019年の没後100周年に向けて、改めて創業者の精神や業績を振り返る記念行事を予定しています。

# 東洋大学ビジョン Beyond 2020 を策定

Toyo University Vision for “Beyond 2020”

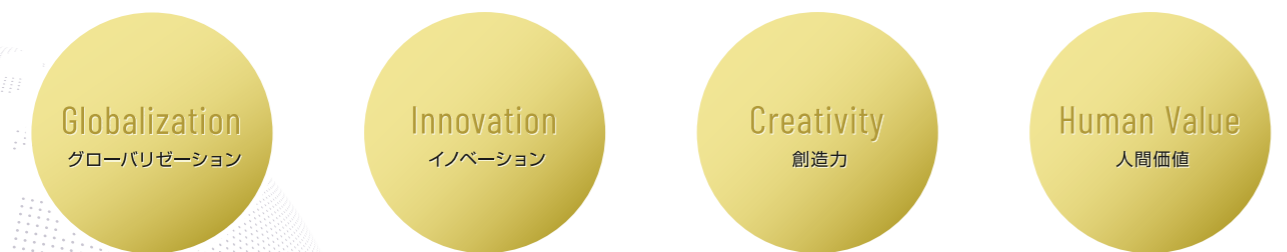
## 行動計画の実現に向けた教育システムの改善を着実に推進

2016（平成28）年、学校法人東洋大学では新たな行動計画として「Beyond2020」を策定。  
2020年を一つの節目として、国内外で山積する諸問題を創造的に解決し、  
切り拓いていく教育・研究機関であり続けていくことを宣言しました。  
キーワードは「グローバル化」「イノベーション」「クリエイティビティ（創造力）」「ヒューマンバリュー（人間価値）」の4つ。  
時代の要請と高等教育の使命を踏まえた大学改革により、教育活動の「進化」、そして「深化」を目指します。

### To steadily promote improvement of the educational system toward the realization of our action objectives

In 2016, Toyo University Incorporated Educational Institution formulated new action objectives called “Beyond 2020.”  
With the year 2020 as a major milestone, we proclaimed our commitment to continuing to be an educational and research organization capable of solving various problems both in and outside Japan in a creative manner, and realizing future developments.  
The key concepts comprise the following four initiatives: Globalization, Innovation, Creativity, and Human Value.  
Our reform of the university is based on the requirements of the times as well as our mission for higher education, and constitutes the basis of our commitment to the “evolution” and “further deepening” of educational activities.

Beyond2020では、以下の4つのキーワードによる大学改革を約束しています。



新時代において活躍できる  
グローバルスキルの育成

社会全体の危機感を、  
期待感へ

研究者×イノベーターで、  
産官学連携を創造する

幅広い教養と専門能力による、  
確かな人格の育成を



## 「Beyond2020」の実現に向けた教育システムの質的改善

「Beyond2020」の各ビジョン実現に向け、学部・大学院が計画立案した中長期計画を2017（平成29）年度より実施しています。  
具体的には、スーパーグローバル大学創成支援に関連した国際的な視野を醸成する取り組みのほか、2018（平成30）年度の大学院の改組、  
2021年度のライフデザイン学部等の移転計画など、学部・大学院における中長期計画を基盤とした各種施策を展開していきます。

### Qualitative improvement of educational systems for the realization of “Beyond 2020”

With the aim of realizing the respective visions of “Beyond 2020,” we have been implementing the medium- to long-term plans established by faculties and graduate schools since the 2017 academic year. Specifically, we will focus on various initiatives to foster international viewpoints included in the Top Global University Project and other measures based on the medium- to long-term plans for faculties and graduate schools such as a reorganization of graduate schools in the 2018 academic year as well as a relocation plan of the Faculty of Human Life Design to be completed in the 2021 academic year.

## ライフデザイン学部等の 赤羽台キャンパス移転計画を発表

A Relocation Project Announced: Faculty of Human Life Design to the Akabanedai Campus

2017（平成29）年8月、現在朝霞キャンパス（埼玉県朝霞市）に設置しているライフデザイン学部等を、  
2021年4月に赤羽台キャンパス（東京都北区）へ移転することを決定し、発表しました。

In August 2017, Toyo University Incorporated Educational Institution decided and announced the relocation project of the Faculty of Human Life Design currently located on the Asaka Campus (in Asaka City, Saitama Prefecture) to the Akabanedai Campus (Kita Ward, Tokyo) in April 2021.

この計画は、2013（平成25）年に締結した学校法人東洋大学と東京都北区および独立行政法人都市再生機構（UR）の『赤羽台地区における大学等の整備に係る協定』に基づいたものであり、本法人が赤羽台キャンパス開設構想段階から北区、URとで協議を進めてきたものです。北区は23区内で高齢化率が最も高く、福祉に関する教育・研究・実践の場の設置に強い期待を寄せており、ライフデザイン学部等の移転はこれに応えるものです。

今回の決定により、既設の情報連携学部による先進技術と福祉分野の協働が実現し、少子高齢化といった社会課題に対する大学と自治体両輪での取り組みが加速します。

The relocation project is based on the “Agreement on Cooperation in Preparing for the Administration of Educational Institutes Including Universities in the Akabanedai District” concluded in 2013 between Toyo University Incorporated Educational Institution, Kita Ward of Tokyo, and the Urban Renaissance Agency (hereinafter, “UR”); and the three parties have been holding a series of discussions on this project since the planning stages of the establishment of the Akabanedai Campus. With the highest aging population rate among the 23 wards of Tokyo, Kita Ward has high expectations for Toyo University’s administration of an educational, research, and practical institute, to which this relocation project of the Faculty of Human Life Design, etc. will respond.

On completion of this relocation project, collaboration will be established utilizing the advanced technology of information networking and expertise in welfare studies of the existing Faculty of Information Networking for Innovation and Design, which will accelerate collaborative efforts to be made by the University and Kita Ward to address the Ward’s social issues stemming from its aging population.

### 移転時期

2021年4月

### 移転対象

- ライフデザイン学部（入学定員：556名）
- ライフデザイン学研究所（入学定員：修士・博士前期課程30名 博士後期課程9名）

### 移転目的

1. 赤羽台に新設する施設・設備による、ライフデザイン学部での教育効果の向上と研究の充実
2. 北区との連携による、教育・研究の推進、福祉・健康分野での社会課題への対応
3. 既設情報連携学部とライフデザイン学部の学術・研究分野での協働の加速

### Target date to complete relocation:

April 2021

### Faculty and graduate schools to be relocated:

- Faculty of Human Life Design (Admission capacity: 556 students)
- Graduate School of Human Life Design (Admission capacity: 30 students for Master’s Program and 9 students for Doctoral Program)

### Purpose for relocation:

1. To enhance the effectiveness of education and research in the Faculty of Human Life Design by using facilities and equipment to be installed on the Akabanedai Campus.
2. To promote education and research while addressing social issues on welfare and health in collaboration with Kita Ward.
3. To accelerate academic and research collaboration between the existing Faculty of Information Networking for Innovation and Design and the Faculty of Human Life Design.

### 新校舎建設予定地



### 入学年度別 修学キャンパス

	2018年度 AY 2018	2019年度 AY 2019	2020年度 AY 2020	2021年度 AY 2021	2022年度 AY 2022	2023年度 AY 2023
2018年度 入学生 Students admitted in AY 2018	朝霞（1年次） Asaka (First year)	朝霞（2年次） Asaka (Second year)	朝霞（3年次） Asaka (Third year)	赤羽台（4年次） Akabanedai (Fourth year)		
2019年度 入学生 Students admitted in AY 2019		朝霞（1年次） Asaka (First year)	朝霞（2年次） Asaka (Second year)	赤羽台（3年次） Akabanedai (Third year)	赤羽台（4年次） Akabanedai (Fourth year)	
2020年度 入学生 Students admitted in AY 2020			朝霞（1年次） Asaka (First year)	赤羽台（2年次） Akabanedai (Second year)	赤羽台（3年次） Akabanedai (Third year)	赤羽台（4年次） Akabanedai (Fourth year)
2021年度 入学生 Students admitted in AY 2021				赤羽台（1年次） Akabanedai (First year)	赤羽台（2年次） Akabanedai (Second year)	赤羽台（3年次） Akabanedai (Third year)

詳細はWebでご覧いただけます  
For further details, please visit our website

<https://www.toyo.ac.jp/toyo2018/future/>



写真提供：「陸上競技マガジン」

£1 世界標準の大学運営への転換 国際通用性を高める教育制度改革  
Shift to world-class university administration  
Education system reforms to enhance international applicability

£2 朝日新聞・読売新聞の連携による全国初の教育プログラム  
First educational program in Japan in collaboration with  
The Asahi Shimbun and The Yomiuri Shimbun

£5 国内外で活躍する東洋大学のアスリートたち  
Toyo University athletes demonstrating  
their outstanding abilities in Japan and abroad



£3 東京外国語大学と大学間協定を締結  
Agreement concluded with  
Tokyo University of Foreign Studies

£4 観光庁による事業に採択 ホスピタリティ産業の人材育成に寄与  
Japan Tourism Agency adopts our project for fostering talented human resources  
Contributing to fostering human resources for the hospitality industry

£6 「独立自活」支援推薦入試一期生のうち3名が学科首席で卒業  
The first three students admitted through the recommendation-based entrance exam  
for assisting "Independence and Self-Initiative" students who study and work at the  
university graduated as the top students in their departments

£7 自然と調和する新体育館が川越キャンパスに竣工  
A new gymnasium, in perfect harmony with the surrounding natural  
environment, completed on the Kawagoe Campus



詳細はWebで  
ご覧いただけます  
For further details, please visit our website

# 教育

— Education —

£1 東洋大学では、従来の春学期と秋学期の授業期間に加え、各学期をさらに2つの期間に分けた「クォーター（8週間）授業」を導入しています。また、GPA（Grade Point Average）制度では、国際通用性の高いGPシステムと成績評価基準を採用しています。

£2 社会学部メディアコミュニケーション学科では、2018（平成30）年度から朝日新聞社、読売新聞社とタイアップした教育プログラム「新聞活用プロジェクト」を開始。2社が本格的に連携して支援する大学教育プログラムは全国で初めての試みとなります。

£3 2017（平成29）年12月21日、東洋大学は東京外国語大学と連携・協力に関する基本協定を締結しました。今後、相互に学生が授業を履修できる単位互換や共同研究、大学施設・設備の相互利用などを進めます。

£4 2017（平成29）年4月、観光庁による「産学連携による観光産業の中核人材育成・強化事業」の事業者に採択され、ホスピタリティ産業における女性活躍のための組織づくりを考える教育プログラムを展開しました。

£5 東洋大学には70以上の体育系部活動があり、数多くのトップアスリートが国内外を舞台に活躍しています。2017（平成29）年度には、陸上競技部の桐生祥秀選手が日本人初の100m 9秒台となる9秒98の日本新記録を樹立し、また水泳部の大橋悠依選手が世界水泳で銀メダルを獲得するなど、輝かしい成績をおさめています。

£6 「独立自活」支援推薦入試は、第2部・イブニングコース（夜間部）を志望する学生が、大学で働きながら学ぶことを前提にした入試です。2018（平成30）年3月に、第一期生が卒業。そのうち3名が学科首席で卒業しました。東洋大学を象徴する入試の一つとして、その認知度は拡大しています。

£7 2018（平成30）年3月29日、東洋大学川越キャンパスにて新体育館竣工式を執り行いました。新体育館はアリーナ棟と複合棟、屋内走路で構成されており、既存の建物と調和するデザインや環境に配慮した設計を採用した室内アスレチックフィールドとなります。

In addition to the conventional course periods for the spring semester and the fall semester, Toyo University has introduced "quarter (eight weeks) courses" by further dividing each semester into two. With respect to the GPA (Grade Point Average) system, we adopt the GP system and an assessment standard of academic achievements that are highly internationally recognized.

In AY 2018 academic year, the Department of Media and Communications of the Faculty of Sociology launched the "Education Project Using Newspapers," a tie-up educational program with The Asahi Shimbun and The Yomiuri Shimbun. This is the first university education program in Japan that is fully supported by these two major newspaper companies.

On December 21, 2017, Toyo University entered into a basic agreement concerning collaboration and cooperation with Tokyo University of Foreign Studies. Going forward, we will realize mutual credit transfer systems in which students of both universities can mutually take courses, conduct joint researches, and mutually use the facilities and equipment of both universities.

In April 2017, we were selected by the Japan Tourism Agency as one of the business operators of its "Project of Cultivation and Enhancement of Core Human Resources for the Tourism Industry by Industry Academia Collaboration," and implemented an educational program to discuss the creation of organizations for the participation of women in the hospitality industry.

With more than 70 student sport clubs, Toyo University has produced a large number of top athletes demonstrating their outstanding abilities in Japan and abroad. In AY2017, sprinter Yoshihide Kiryu, who belonged to the athletics club, set a new Japanese national record in the men's 100 m of 9.98 seconds, becoming the first Japanese athlete to break the 10-second barrier. In the same year, swimmer Yui Ohashi belonging to the swimming club won a silver medal in the 2017 World Aquatics Championships. Represented by these outstanding performers, Toyo University athletes achieved excellent results in AY2017.

The recommendation-based entrance exam for assisting "Independence and Self-Initiative" students is aimed at prospective evening-course students on the condition that they will study and work at the university. In March 2018, the first students admitted through this entrance exam graduated, among whom three graduated as the top students in their departments. As one of the entrance exams symbolizing Toyo University, this entrance exam is receiving growing public recognition.

On March 29, 2018, a ceremony to celebrate the completion of a new gymnasium took place on the Toyo University Kawagoe Campus. The new gymnasium comprises an arena building, a complex building and an in-door running track, and serves as an in-door athletic field designed to look harmonious with existing buildings and to be eco-friendly.



**R1** 文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択  
Selected for the Private University Research Branding Project of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT)

**R2** 企業における女性活躍を客観的に評価する指標を開発  
Developing an index designed to objectively assess the levels of women's empowerment in companies

**S1** 2020年を見据えた学生のボランティア参加を支援  
Supporting students to participate in volunteer activities in view of 2020

**S2** 社会と東洋大学をつなぐWebメディア「LINK UP TOYO」を開設  
Opening the website "LINK UP TOYO" as a bridge between society and Toyo University



**R3** オリンピック・パラリンピックを研究成果で支える助成制度を創設  
Establishing a research grant program aimed at supporting the Olympics and Paralympics with research achievements

**R4** 世界的な有識者を招聘し推進するグローバル・イノベーション研究  
Global innovation studies promoted by inviting world-class experts



**S3** 最先端の情報通信技術を駆使し産学連携でイノベーションを創出  
Creating innovations through academia-industry collaboration using state-of-the-art information and communication technologies



**S4** 卒業生・植木等さんの生誕90周年記念展覧会を開催  
An exhibition held to mark the 90th birth anniversary of Mr. Hitoshi Ueki, a Toyo University alumnus



詳細はWebで  
ご覧いただけます  
For further details, please visit our website

# 研究

— Research —

**R1**

文部科学省の2017(平成29)年度「私立大学研究ブランディング事業」の支援対象校として、東洋大学の「多階層的な研究によるアスリートサポートから高齢者ヘルスサポート技術への展開」が採択されました。本研究事業では、トップアスリートの支援と幅広い層への社会還元を進めています。

Toyo University's research project "Adaptation of athlete-supporting technologies to healthcare support for the elderly through multiphase research" was selected in a grant under MEXT's FY2017 Private University Research Branding Project. This research project aims to both support top athletes and share the fruits of research with a wider range of people in society.

**R2**

東洋大学は厚生労働省データベースをもとに、「女性活躍インデックス」を開発しました。これは女性の活躍度合いを、産業別・企業別に客観的に評価するもので、国内計910の企業や団体の女性活躍度を「女性活躍インデックス」で順位付けした「法人ランキング2017」を発表。今後も毎年、ランキングを発表していきます。

Toyo University has developed a Women's Empowerment Index based on a database built by the Ministry of Health, Labour and Welfare. This index is designed to objectively assess the level of women's empowerment by category of industry, and by company. The university has announced the Company Rankings 2017, in which 910 companies and organizations in Japan are ranked according to their levels of women's empowerment as shown in the Women's Empowerment Indices. The university will continue to announce the rankings every year.

**R3**

東洋大学ではオリンピック・パラリンピックに関する特別プロジェクト研究助成制度を設け、研究成果がオリンピック・パラリンピック推進につながる本学学内の研究プロジェクトに対し、2017(平成29)年度からの4年間で約4億4千万円の予算規模で支援します。

Toyo University has established a research grant program targeting special projects related to the Olympics and Paralympics. This program aims to enable the university to allocate a budget of about 440 million yen in the four-year period starting in AY 2017 to financially support research projects within the university that are expected to accomplish achievements helpful in promoting the Olympic and Paralympic Games.

**R4**

2017(平成29)年6月に世界銀行前総裁のロバート・B・ゼーリック氏をお招きし、グローバル・イノベーション学研究中心が主催する国際シンポジウムを開催。併せて国際学部の学生との対話集会を実施しました。

In June 2017, Toyo University's Center for Global Innovation Studies held an international symposium with the participation of Dr. Robert B. Zoellick, former president of the World Bank, as a guest. The next day, the center also held a dialogue meeting in which Dr. Zoellick had discussions with students at the Faculty of Global and Regional Studies.



詳細はWebで  
ご覧いただけます  
For further details, please visit our website

# 社会連携

— Social Partnership —

**S1**

ボランティア支援室では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアの養成を推進し、東京都との共催で「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」等を展開。また、2018(平成30)年3月には公益財団法人スペシャルオリンピックス日本と国内初となるパートナーシップ協定を締結しました。

The Volunteer Support Office promotes volunteer training in preparation for the Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020, and offers the training program for Omotenashi Language Volunteers in cooperation with the Tokyo Metropolitan Government, and other programs. Moreover, in March 2018, Toyo University concluded a Unified Schools partnership agreement with the Special Olympics Nippon Foundation. This agreement was the first of this type to be concluded in Japan.

**S2**

2017(平成29)年7月から、東洋大学のWebメディア「LINK UP TOYO ~人と歴史をつなぎ、未来へ~」を公開しました。世の中の皆さまと東洋大学をつなげる架け橋となる新たなコミュニケーションツールを目指し、多様なテーマのコンテンツを随時更新しています。

In July 2017, Toyo University launched a website titled "LINK UP TOYO-Connecting People and History toward the Future-". Aiming to raise the website as a new communication tool serving as a bridge between the general public and the university, we add and update contents concerning various themes as needed.

**S3**

赤羽台キャンパスに、組織を超えたオープンなイノベーションを加速させ、大学とビジネスの連携のハブ(結節点)となることを目指した「情報連携学術実業連携機構(INIAD cHUB)」が誕生。また、東京都北区との包括協定に基づき、「産学連携ワンストップサービス窓口」を開設。産学連携事業を通して学術的知見を社会に還元していきます。

On its Akabanedai Campus, Toyo University established the Information Networking for Innovation and Design collaboration Hub for University and Business (INIAD cHUB), which aims to accelerate cross-organizational, open innovation and become a hub for academia-industry collaboration. In addition, the university also opened the Academia-Industry Collaboration One-stop Service Counter based on a comprehensive agreement with Kita Ward, Tokyo. Toyo University will share academic knowledge with society through academia-industry collaboration programs.

**S4**

東洋大学の卒業生であり昭和を代表するエンターテイナーでもある植木等さんの生涯を、写真や映像アーカイブ、緑の品々などを通じて振り返る「東洋大学『植木等展』~卒業生の功績を辿る~」を2017(平成29)年10月に白山キャンパスにて開催しました。

In October 2017, the "Toyo University Exhibition on Hitoshi Ueki: Tracing the Achievement of the Excellent Alumnus" took place on the Hakusan Campus. This exhibition aimed to trace the life of Mr. Hitoshi Ueki, a Toyo University alumnus and an iconic entertainer of the Showa Era, through photos, film archives, and items related to him.

掲載データは本書発行時期における最新の集計結果を掲載しております。発行後に更新される情報は本学Webサイトでご確認ください。

在籍学生数 (2018年5月1日現在の暫定数であり、変更になる場合があります。)

学部 (第1部)

学部名	男性	女性	合計
文学部	1,704	2,253	3,957
経済学部	1,970	848	2,818
経営学部	1,852	1,203	3,055
法学部	1,596	740	2,336
社会学部	1,299	2,027	3,326
国際地域学部 <sup>(※1)</sup>	429	750	1,179
国際学部	290	495	785
国際観光学部	195	561	756
情報連携学部	616	199	815
ライフデザイン学部	1,030	1,395	2,425
理工学部	2,944	572	3,516
総合情報学部	899	289	1,188
生命科学部	604	338	942
食環境科学部	364	552	916
合計	15,792	12,222	28,014

※1 2017年4月、国際地域学部を国際学部および国際観光学部に改組

学部 (第2部)

学部名	男性	女性	合計
文学部	370	251	621
経済学部	546	112	658
経営学部	313	160	473
法学部	407	104	511
社会学部	476	266	742
合計	2,112	893	3,005

通信教育課程

学部名	男性	女性	合計
文学部	137	387	524
法学部	136	60	196
合計	273	447	720

大学院

研究科名	男性	女性	合計
文学研究科	70	51	121
社会学研究科	23	30	53
法学研究科	11	8	19
経営学研究科	60	23	83
理工学研究科	108	19	127
工学研究科 <sup>(※2)</sup>	4	0	4
経済学研究科	58	17	75
国際学研究科	2	10	12
国際観光学研究科	7	3	10
国際地域学研究科 <sup>(※3)</sup>	33	29	62
社会福祉学研究科	8	14	22
生命科学研究科	45	17	62
ライフデザイン研究科	10	5	15
福祉社会デザイン研究科 <sup>(※4)</sup>	36	40	76
学際・融合科学研究科	13	8	21
総合情報学研究科	24	11	35
食環境科学研究科	8	14	22
情報連携学研究科	5	1	6
合計	525	300	825

※2 2014年4月、工学研究科を理工学研究科に改組  
 ※3 2018年4月、国際地域学研究科を国際学研究科および国際観光学研究科に改組  
 ※4 2018年4月、福祉社会デザイン研究科を社会福祉学研究科、ライフデザイン研究科および社会学研究科福祉社会システム専攻に改組

附属学校等

学校名	男性	女性	合計
附属姫路高等学校	848	305	1,153
附属牛久高等学校	872	806	1,678
東洋大学京北高等学校	201	159	360
高等学校合計	1,921	1,270	3,191
附属姫路中学校	113	67	180
附属牛久中学校	90	98	188
東洋大学京北中学校	364	304	668
中学校合計	567	469	1,036
京北幼稚園	50	48	98

キャンパス別学生数 (学部第1部・第2部、大学院)

キャンパス名	男性	女性	合計
白山キャンパス	11,735	9,975	21,710
朝霞キャンパス	1,060	1,420	2,480
川越キャンパス	3,992	899	4,891
板倉キャンパス	1,021	921	1,942
赤羽台キャンパス	621	200	821
合計	18,429	13,415	31,844

専任教員数 (2018年5月1日現在)

学部名	教授	准教授	講師 <sup>(※1)</sup>	助教	小計	助手	合計
文学部	62	21	4	8	95	0	95
経済学部	38	24	5	4	71	0	71
経営学部	30	22	12	3	67	0	67
法学部	40	15	4	3	62	0	62
社会学部	48	18	8	7	81	0	81
国際学部	23	10	7	2	42	0	42
国際観光学部	17	8	7	2	34	0	34
白山キャンパス合計	258	118	47	29	452	0	452

学部名	教授	准教授	講師 <sup>(※1)</sup>	助教	小計	助手	合計
理工学部	60	25	1	5	91	0	91
総合情報学部	22	4	3	1	30	0	30
川越キャンパス合計	82	29	4	6	121	0	121

学部名	教授	准教授	講師 <sup>(※1)</sup>	助教	小計	助手	合計
生命科学部	21	5	3	2	31	0	31
食環境科学部	17	10	1	2	30	5	35
板倉キャンパス合計	38	15	4	4	61	5	66

学部名	教授	准教授	講師 <sup>(※1)</sup>	助教	小計	助手	合計
ライフデザイン学部	32	21	5	12	70	3	73

学部名	教授	准教授	講師 <sup>(※1)</sup>	助教	小計	助手	合計
情報連携学部	18	10	4	12	44	0	44

所属	教授	准教授	講師 <sup>(※1)</sup>	助教	教諭	小計	助手	合計
大学院	3	4	0	0	0	7	0	7
IR室	1	0	0	0	0	1	0	1
国際教育センター	0	3	9	1	0	13	0	13
図書事務課	0	0	0	0	1	1	0	1

附属学校等教員数

学校名	教諭	助教諭	講師	教員合計
附属姫路中学校	10	0	1	11
附属姫路高等学校	67	0	3	70
附属牛久中学校	12	0	0	12
附属牛久高等学校	76	1	2	79

事務職員数 (2018年5月1日現在)

大学

身分	職員数
参事	18
副参事	17
主事	47
主事補	80
書記	240
事務職員	15
専任職員等小計	417
常勤嘱託	81
特別嘱託	19
嘱託小計	100
合計	517

附属学校等

学校名	参事	副参事	主事	主事補	書記	常勤嘱託	特別嘱託	職員合計
附属姫路中学校・高等学校事務室	0	0	0	1	3	8	0	12
附属牛久中学校・高等学校事務室	0	1	1	1	3	3	0	9
京北事務室	0	0	1	1	4	2	0	8
合計	0	1	2	3	10	13	0	29



1 スーパーグローバル大学創成支援事業の中間評価でA評価を取得  
 Toyo University received an A-rating (likely to achieve the project objectives) in the interim evaluation of the Top Global University Project

2 留学生就職促進プログラムに東京の大学から唯一採択  
 Toyo University was selected for the Career Development Program for Foreign Students in Japan as the only university located in Tokyo



3 グローバル社会での活躍を目指し海外経験を積む学生たちの成果  
 Achievements by students who aim at working globally through international experiences

4 国際学部開学記念イベントでマハティール閣下との対話集会  
 At an event celebrating the opening of the Faculty of Global and Regional Studies A dialogue meeting was held with Dr. Mahathir bin Mohamad



# 国際交流

— International exchange —  
 詳細はWebで  
 ご覧いただけます  
 For further details, please visit our website

1 2017(平成29)年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業の中間評価では、学内のグローバル化を目指すため野心的な目標設定を行い、株式会社設立などの持続可能な仕組みが構築されるなどユニークな取り組みが評価され、A評価(事業目的達成可能)を取得しました。

2 2017(平成29)年、多くの外国人材が日本企業に就職できる機会を創出することを目的とした文部科学省「留学生就職促進プログラム」に国立大学10校、私立大学2校が採択された中で、東洋大学は都内で唯一の大学として採択されました。東京と地方都市をつなぎ留学生のIターン就職を促進するべく大学の海外連携で取り組んでいます。

In the interim evaluation of the Top Global University Project FY 2017 of MEXT, we received A-rating in recognition of our aggressive targets for the university-wide globalization and other unique initiatives, including the setting up of sustainable mechanisms represented by the establishment of a joint-stock corporation.

With the aim of developing international human resources capable of leading Japan in the future, Toyo University encourages students to have overseas experiences, dispatching 2,146 students in AY 2017. Among them, under the "TOBITATE! (Leap for Tomorrow) a public-private study abroad support program administered by MEXT, a student dispatched from Toyo University received an "Award of Excellence," demonstrating our students' realization of steady achievements based on their overseas experiences.







研究データ

科学研究費助成事業の保有件数  
および保有金額

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
保有件数	162	165	187	216
保有金額 (単位:千円)	257,390	272,000	320,281	322,223

科学研究費新規応募採択状況 (第1回交付内定時)

2014年度			2015年度			2016年度			2017年度		
申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率
188	52	27.7%	179	41	22.9%	229	67	29.3%	219	58	26.5%

外部資金による研究件数

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
科学研究費助成事業	158	162	165	187	219
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	9	10	9	6	5
共同研究・受託研究	54	43	51	59	74
奨学寄附金	41	42	29	46	38
合計	262	257	254	298	336

外部資金による研究費

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
科学研究費助成事業	276,350	257,390	272,000	320,281	322,223
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	107,365	141,813	110,975	41,295	32,303
私立大学研究 ブランディング事業					43,000
共同研究・受託研究	115,269	94,843	132,090	163,801	137,338
奨学寄附金	40,005	31,286	30,239	41,605	29,218
合計	538,989	525,332	545,304	566,982	564,082

学位授与状況 (2017年4月~2018年3月授与分)

	9月修了		3月修了		博士(論文)	合計
	修士	博士(課程)	修士	博士(課程)		
文学研究科	0	0	34	2	1	37
社会学研究科	0	0	12	2	0	14
法学研究科	0	0	9	1	0	10
経営学研究科	1	0	39	1	0	41
経済学研究科	6	0	21	0	0	27
国際地域学研究科	17	2	15	3	0	37
福祉社会デザイン研究科	0	2	26	4	0	32
理工学研究科	2	1	57	0	0	60
工学研究科	0	0	0	2	0	2
学際・融合科学研究科	0	0	4	0	1	5
生命科学研究科	1	0	19	2	0	22
総合情報学研究科	0	0	8	0	0	8
食環境科学研究科	0	0	12	0	0	12
合計	27	5	256	17	2	307

	9月修了	3月修了	合計
法科大学院 法務研究科	1	3	4

発明届出数

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
発明届出数	19	14	15	12	20

特許出願件数

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
単独出願	14	9	13	8	10
共同出願	5	1	3	3	5
合計	19	10	16	11	15

図書館データ

図書所蔵数 (2018年3月31日現在)

	和書	洋書	合計
白山図書館	747,907	257,797	1,005,704
川越図書館	141,495	60,432	201,927
朝霞図書館	245,318	22,319	267,637
板倉図書館	65,849	10,376	76,225

雑誌所蔵タイトル数 (2018年3月31日現在)

	和雑誌	洋雑誌	合計
白山図書館	8,371	3,388	11,759
川越図書館	1,209	1,452	2,661
朝霞図書館	1,931	475	2,406
板倉図書館	367	185	552

入館者数 (2017年度開館日)

	開館日数	延べ入館者数
白山図書館	301	893,671
川越図書館	276	194,146
朝霞図書館	280	80,291
板倉図書館	288	121,144

キャンパス・施設

白山キャンパス Hakusan Campus



文学部/経済学部/経営学部/法学部/社会学部/国際学部/国際観光学部/  
文学研究科/社会学研究科/法学研究科/経営学研究科/経済学研究科/  
国際学研究科/国際観光学研究科/社会福祉学研究科  
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 TEL. 03-3945-7224  
5-28-20 Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

朝霞キャンパス Asaka Campus



ライフデザイン学部/ライフデザイン学研究科  
〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1 TEL. 048-468-6311  
48-1 Oka, Asaka-shi, Saitama

板倉キャンパス Itakura Campus



生命科学部/食環境科学部/  
生命科学研究科/食環境科学研究科  
〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1 TEL. 0276-82-9111  
1-1-1 Izumino, Itakura-machi, Oura-gun, Gunma

赤羽台キャンパス Akabanedai Campus



情報連携学部/情報連携学研究科  
〒115-0053 東京都北区赤羽台1-7-11 TEL. 03-5924-2600  
1-7-11 Akabanedai, Kita-ku, Tokyo

川越キャンパス Kawagoe Campus



理工学部/総合情報学部/  
理工学研究科/学際・融合科学研究科/総合情報学研究科  
〒350-8585 埼玉県川越市鯉井2100 TEL. 049-239-1300  
2100 Kujirai, Kawagoe-shi, Saitama

大手町サテライト Otemachi Satellite

経済学研究科(公民連携専攻)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル1F TEL. 03-3231-1021  
1F New Otemachi Building, 2-2-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo

総合スポーツセンター General Sports Center

〒174-0053 東京都板橋区清水町92-1 TEL. 03-6454-3340  
92-1 Simizu-cho, Itabashi-ku, Tokyo

附属学校等

東洋大学附属  
姫路中学校・高等学校

Toyo University Himeji Junior and Senior High School  
〒671-2201 兵庫県姫路市書写1699  
TEL. 079-266-2626  
1699 Shosha, Himeji-shi, Hyogo

東洋大学附属  
牛久中学校・高等学校

Toyo University Ushiku Junior and Senior High School  
〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1360-2  
TEL. 029-872-0350  
1360-2 Kashiwadocho, Ushiku-shi, Ibaraki

東洋大学  
京北中学高等学校

Toyo University Keihoku Junior and Senior High School  
〒112-8607 東京都文京区白山2-36-5  
TEL. 03-3816-6211  
2-36-5 Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

京北幼稚園

Keihoku Kindergarten  
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-5  
TEL. 03-3941-7090  
2-13-5 Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo

# 財務ハイライト

経常経費の見直しや活性化、教育研究経費比率の向上などを通し、学校法人東洋大学の継続的発展の基礎となる健全な財政に基づく予算編成を行っています。

Review  
2017 (平成29) 年度  
貸借対照表レビュー

【資産の状況】

2017 (平成29) 年度末の資産総額は、2,326 億 1,400 万円で前年度末に比べ 62 億 7,400 万円増加しました。固定資産は 2,007 億 5,200 万円となり、うち有形固定資産については、大学の川越キャンパスで新体育館を建設したこと、白山キャンパスでエレベーターリニューアル工事や各キャンパスで既存校舎空調機の更新を行ったことのほか、教育・研究のための機器備品や図書の購入などの増加がありました。それを上回る各資産の減価償却により、合計で 25 億 1,500 万円減少し 1,463 億 1,100 万円となりました。特定資産は、大学の新学部設置準備のための引当特定資産として 30 億円を、減価償却引当特定資産として 21 億円を、建設準備引当特定資産として 20 億円をそれぞれ組み入れたことなどにより、合計で 71 億 5,200 万円増加し 537 億 5,700 万円となりました。その他の固定資産は、赤羽台キャンパスの教育システム開発や事務処理支援システム用ソフトウェアの追加開発などに伴い、6,400 万円増加し 6 億 8,400 万円となりました。流動資産は現金預金が 16 億 7,700 万円増加したことなどにより 15 億 7,200 万円増加し 318 億 6,200 万円となりました。

【負債の状況】

負債総額は 199 億 2,900 万円で前年度末に比べ 4 億 800 万円増加しました。固定負債は退職給与引当金が 2,600 万円増加したことにより、87 億 5,900 万円となりました。一方、流動負債は未払金が 7 億 3,600 万円増加したことにより 17 億 4,100 万円に、前受金が 3 億 7,300 万円減少したことにより 84 億 9,100 万円になったことなどにより、3 億 8,100 万円増加し 111 億 2,000 万円となりました。

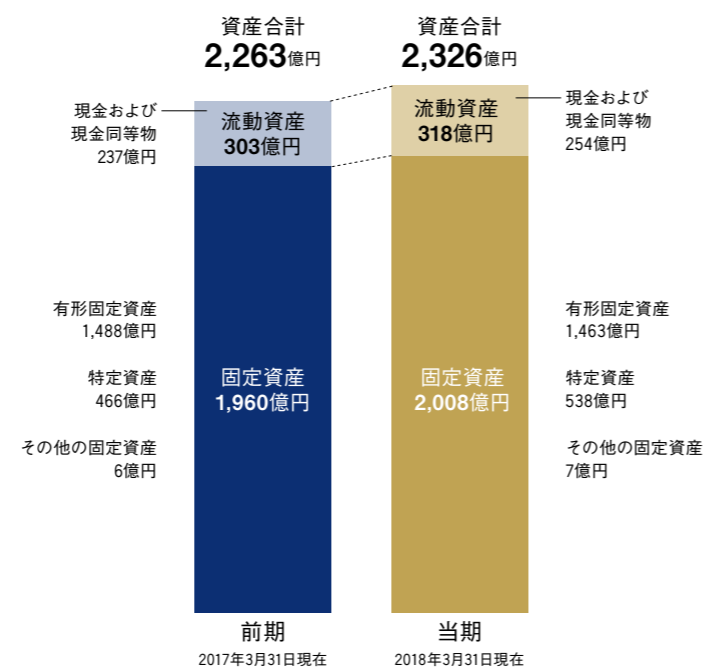
【基本金の状況】

基本金は 44 億 7,100 万円増加して 2,469 億 5,100 万円となりました。このうち、第 1 号基本金は川越キャンパスの新体育館建設工事に係る組み入れや、施設の改修、機器備品など施設設備充実による取得や除却などにより、合計で 10 億 900 万円増加し 2,193 億 9,000 万円となりました。第 2 号基本金は、大学において新学部設置準備のための引当特定資産として 30 億円を組み入れたことにより 136 億円となりました。第 4 号基本金は、4 億 6,100 万円増加して 24 億 9,400 万円となりました。

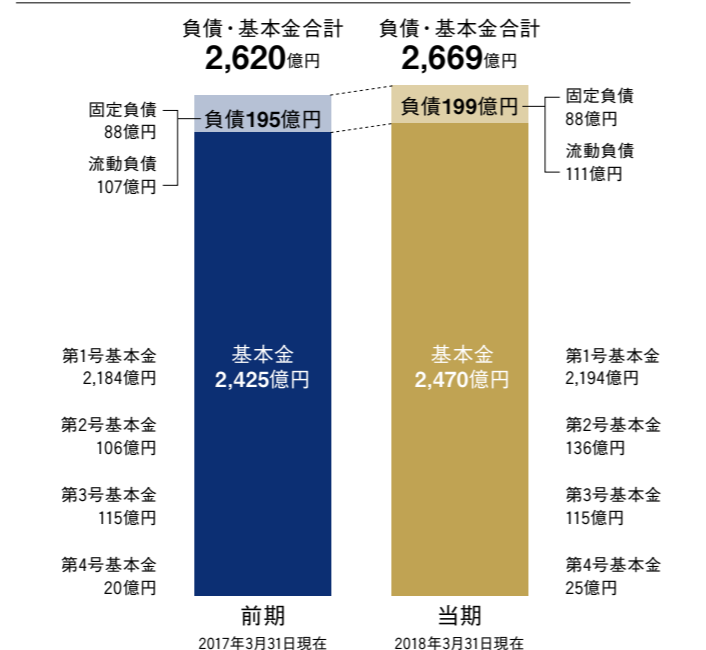
【収支差額の状況】

資産総額 2,326 億 1,400 万円に対して、負債総額が 199 億 2,900 万円になったため、純資産は 58 億 6,600 万円増加し 2,126 億 8,500 万円となり、基本金が 2,469 億 5,100 万円であったため繰越収支差額はマイナス 342 億 6,600 万円となりました。なお、当年度末における減価償却累計額の合計は 732 億 4,100 万円、基本金の未組入額は 6 億 7,200 万円となりました。

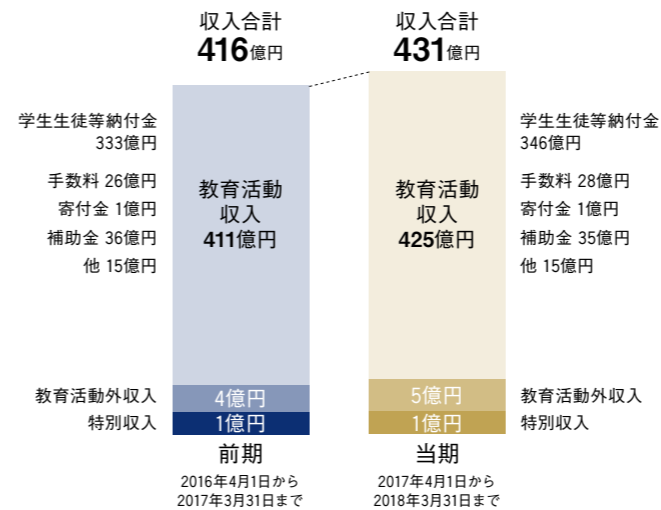
資産の状況



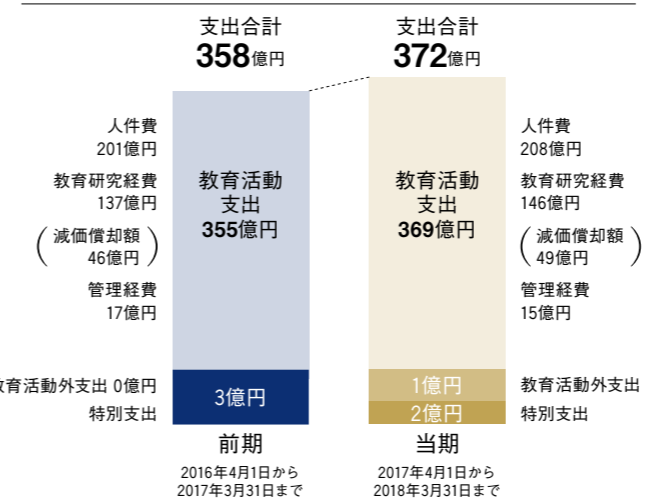
負債・基本金の状況



事業活動収入の状況



事業活動支出の状況



Review  
2017 (平成29) 年度  
事業活動収支計算書レビュー

【事業活動収入の状況】

当年度の事業活動収入の合計は 430 億 6,900 万円で、教育活動収支の主な収入項目としては、学生生徒等納付金が新学部新学科開設による入学定員の増加等に伴い前年度より 13 億 3,000 万円増加し 346 億 4,100 万円に、入学検定料などの手数料が志願者数の増加に伴い前年度より 2 億 2,600 万円増加し 28 億 3,600 万円に、施設設備以外の特別寄付金や一般寄付金、現物寄付などの寄付金は前年度より 800 万円減少し 1 億 2,400 万円に、経常費等の補助金は前年度より 5,800 万円減少し 35 億 4,800 万円になりました。教育活動外収支では、受取利息・配当金が前年度より 1 億 1,400 万円増加し 5 億 500 万円に、特別収支では施設設備に係る寄付金、現物寄付や補助金などのその他の特別収入は 3,800 万円減少し、6,800 万円になりました。

【事業活動支出の状況】

当年度の事業活動支出の合計は 372 億 300 万円で、教育活動収支の主な支出項目としては、人件費が専任教職員の採用増加等に伴い前年度より 6 億 6,100 万円増加し 207 億 8,100 万円に、教育研究経費は前年度より 9 億 2,000 万円増加し 145 億 6,100 万円に、管理経費は 1 億 8,500 万円減少し 15 億 3,700 万円となっています。なお、全体のうち 49 億 1,800 万円は減価償却によるものです。

【収支差額の状況】

教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年度より 100 万円減少し 60 億 600 万円で、さらに特別収支差額を加えた基本金組入前当年度収支差額 (旧帰属収支差額) は、前年度より 2,500 万円増加し 58 億 6,600 万円となりました。基本金組入額を差し引いた当年度収支差額は 13 億 9,000 万円で、翌年度繰越収支差額はマイナス 342 億 6,600 万円 (支出超過) となりました。

Budget  
2018 (平成30) 年度予算規模

